

福祉サービス第三者評価結果

事業所

多機能型事業所 希望の家

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和8年1月27日

③事業者情報

名称:	社会福祉法人 庄内厚生館 多機能型事業所 希望の家	種別:	就労継続支援A型 就労継続支援B型
代表者氏名:	理事長 伊藤 秀海	定員(利用人数):	40 名 (38)名
所在地: 大分県由布市庄内町西長宝1417			
電話番号: 097-582-1215			

④総評

◇評価の高い点

【経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。】

- ・法人全体として、「中長期経営計画書」(令和4年～令和8年度)を策定して、5年間で解決すべき課題や問題点を明確にしている。
- ・計画は法人本部計画と施設計画に分けて構成され、それぞれの経営課題の解決・改善に向けて具体的に取り組んでいる。
- ・利用者の高齢化による生産性の低下や、動作面の介助等による職員の負担の増、多様な障がい者に対応するための職員の専門性の向上、利用者の働きやすい環境づくり等、当施設の経営課題を具体的に把握・分析している。

【地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。】

- ・地域貢献として、地域の草刈りや町内のゴミ拾い活動に参加している。また、地域住民参加による総合避難訓練や炊出し訓練を年に1度実施している。
- ・由布市教育委員会による在住の障がい者の学び事業「ゆふぽきらきら教室」に、職員がスタッフとして登録し、行政や他法人等多職種連携して、公民館で定期的に料理教室等が開催されている。「ゆふぽきらきら教室」には利用者も参加しており、当施設が有する福祉サービスのノウハウや専門的な情報を地域に還元する取組を積極的に行っている。

【利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。】

- ・利用者や担当職員、サービス管理責任者等の関係者が集まり、個別支援会議を6ヶ月に1度実施しており、利用者満足等を調査・把握し、協議を行って、個別支援計画に反映している。
- ・利用者家族に対し満足度アンケート調査が行われており、調査結果を把握・評価して、家族等の視点からも福祉サービス支援の質の向上に取り組んでいる。

【利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている】

- ・モニタリング等を通して、就労内容や就労工程など自己決定と移行などをもとに配置を行い、日々の心身の状況の変化に都度対応している。また、障害特性に応じ、個室での就労やヘッドホン着用等、利用者個々に合わせるなどの配慮をしている。
- ・趣味、衣服、理美容などは通所施設であるため基本的に自由としているが、社会性向上に向けた支援も行っている。

【個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている】

- ・多くの就労内容がある中、利用者の要望やニーズに沿って担当配置を行っている。また、状況の変化にも柔軟かつ迅速に対応している。
- ・就労以外にも、一泊旅行やクリスマス会、自治会要望外出等、事業所行事も多く実施している。また、スポーツ面では、障がい者スポーツ大会や大分県ゆうあいスポーツ大会にも参加している。

【利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている】

- ・年齢、障害、体力、病気等に合わせ、それぞれの働き方スタイルに柔軟に対応している。作業種別では、特にB型事業所は定員が多いため、多くの種別を確保し満遍なく作業提供ができるよう取り組んでいる。
- ・工賃については、工賃規定を定め、年度初めに利用者・保護者に向け説明を行っている。

⑤第三者評価に対する事業者のコメント

当事業所として、更なるサービスの質の向上を目指して、今回初めて第三者評価を受審しました。第三者評価を受審することで、改めて振り返るきっかけとなったことやより良い事業所を目指す上での改善に繋げる気付きとなりました。

今回の評価を受け、今後のサービスの質の向上、利用者満足度向上に向け取り組んでいきたいです。

これからも法人理念である「共歩・共笑・共育」を念頭に置き、職員の良い職場環境作り(職員満足向上)、従業員・利用者の充実した就労環境と就労提供(利用者満足の向上)に取り組んでいきます。

⑥各評価項目にかかる評価結果(別紙)